

2009 年度 5 月実施 ファイナンシャル・プランニング技能検定

《模範解答》

・ 2 級 実技試験 生保顧客資産相談業務 (2009 年 5 月 24 日実施)

配点は、公表しておりません。また、配点・試験の内容に関するお問合せには、お答えできません。

成績通知は 7 月 1 日の予定です。

厚生労働大臣指定試験機関 社団法人 金融財政事情研究会
検定センター

合格基準 50 点満点で 30 点以上

【第 1 問】

《問 1》

答 61 基本月額 28 3

《問 2》

国民年金の保険料納付済期間：480 月 - 27 月 = 453 月

$792,100 \text{ 円} \times \frac{453}{480} = 747,544 \text{ 円}$ (50 円未満切り捨て) 747,500 円

答 747,500 円

《問 3》

答

×判定		×	

【第 2 問】

《問 4》

遺族に必要な資金の総額

長女 D さんが独立するまでの生活費 : $250 \text{ 千円} \times (22 \text{ 歳} - 6 \text{ 歳}) \times 12 \text{ カ月} \times 70\%$
= 33,600 千円

長女 D さんの独立後の妻 B さんの生活費 : $250 \text{ 千円} \times 33 \text{ 年} \times 12 \text{ カ月} \times 50\%$
= 49,500 千円

子どもの教育資金および結婚援助資金 : $21,000 \text{ 千円} + 3,000 \text{ 千円} = 24,000 \text{ 千円}$

$33,600 \text{ 千円} + 49,500 \text{ 千円} + 24,000 \text{ 千円} + 2,000 \text{ 千円}$ (葬儀費用) = 109,100 千円

答 109,100 千円

必要保障額の過不足額

$$109,100 \text{ 千円} - (65,000 \text{ 千円} + 5,000 \text{ 千円} + 45,000 \text{ 千円} + 2,000 \text{ 千円} + 16,000 \text{ 千円}) \\ = 23,900 \text{ 千円}$$

答 過剰・不足 23,900 千円

《問5》

答

×判定			×

《問6》

答 17,965 千円 492 千円

【第3問】

《問7》

答 6割 2分の1 不要

《問8》

功績倍率方式による役員退職金額

$$1,000 \text{ 千円} \times 27 \text{ 年} \times 2.5 = 67,500 \text{ 千円}$$

答 67,500 千円

退職所得の金額

$$\text{退職所得控除額} : 8,000 \text{ 千円} + (27 \text{ 年} - 20 \text{ 年}) \times 700 \text{ 千円} = 12,900 \text{ 千円}$$

$$\text{退職所得の金額} : (67,500 \text{ 千円} - 12,900 \text{ 千円}) \times \frac{1}{2} = 27,300 \text{ 千円}$$

答 27,300 千円

《問9》

答

×判定			×

【第4問】

《問10》

答 確定申告書 650 3,350

《問11》

答

×判定	×		×

《問12》

雑所得の金額 : 800,000円 - 1,200,000円 = 0円 (公的年金に係るもの)
 2,000,000円 - 1,300,000円 = 700,000円

課税総所得金額 : (3,350,000円 + 700,000円) - 1,000,000円 = 3,050,000円

所得税額 : 3,050,000円 × 10% - 97,500円 = 207,500円

答 207,500円

【第5問】

《問13》

答

×判定	×	×	

《問14》

確定年金として算出した評価額 : 1,200千円 × 6年(回) × 60% = 4,320千円

終身年金として算出した評価額 : 1,200千円 × 2倍 = 2,400千円

答 4,320千円

《問15》

答 20,000千円 90,000千円 8,050千円 0千円